

今年も大盛況！

# 「ぴっぴぶ駅マルシェ」 フォトレポート

旭川で開催されている「北の恵み食べマルシェ」に合わせる形で、昨年より開催している「ぴっぴぶ駅マルシェ」。今年も9月16日(日)に比布駅前広場周辺で行われました。

比布町自慢のグルメが集結。ハンドメイド作品やフリーマーケットのお店などたくさんのお店が並びました。ステージパフォーマンスでは、P★DASH KIDSによるダンスや比布中学校吹奏楽部による演奏。さらに今年は演歌歌手の水森かおりさんによるミニステージも行われました(左ページ)。



会場の盛り上がり、写真とともにお伝えします。



マルシェとはフランス語で「市場」のこと。この日は駅前に小さな市場ができました。お店にはおいしいグルメのほか、手作りのアクセサリや花の苗、カブトムシや包丁まで、本場に色々なものが並びました。ピカフェもたくさんの人でにぎわい、お昼時には多くの方が比布のグルメを満喫していました。

## グルメ・出店



今回のぴっぴぶ駅マルシェ開催にあわせて、JR比布駅関係のイベントも実施。JR利用者への記念品配付や、比布駅開駅120周年記念台紙付きご当地入場券の販売、車掌コスプレコーナーなど、多くの鉄道ファンが訪れました。

## JR比布駅関係



ステージパフォーマンスではP★DASH KIDSの子どもたちによるヒップホップダンスや、比布中学校吹奏楽部による演奏が披露され、訪れた人々を楽しませました。



## ステージパフォーマンス



## 水森かおりさんを 比布町応援大使に任命しました



駅マルシェのラストに委嘱式とあわせてミニステージを行う運びとなりました。ミニステージ1曲目は「釧路湿原」から。登場と同時にファンの方から歓声が沸き起こり、会場は熱気に包まれました。続く2曲目は紅白初出場曲の「鳥取砂丘」。歌い終えたところで委嘱式へと移りました。



委嘱式では村中町長との軽妙なトークで聴衆を沸かせました。「一番欲しかった」と語る比布町応援大使の委嘱状を授与した後、JAぴっぴぶ町からも比布町産米を贈呈。大西組合長から目録が手渡されました。

## ファイターズ 比布町応援大使に 比布町産米を贈呈



9月4日(火)旭川スタルヒン球場で行われたファイターズ対西武ライオンズ戦にて、試合開始前に北海道日本ハムファイターズ比布町応援大使の中島卓也選手に比布町産米一俵を贈呈しました。贈呈式では植村副町長、ファイターズびっぴぶ後援会会長高橋朝義さんより目録が手渡されました。シーズンもいよいよ佳境。ファイターズのますますの活躍をお祈りしています。

9月16日(日)ぴっぴぶ駅マルシェのフィナーレとして、演歌歌手の水森かおりさんの比布町応援大使委嘱式を行いました。

応援大使の委嘱は今回で3人目。水森さんの応援大使委嘱の経緯は先月号で紹介したとおり、比布町のご当地ソング「宗谷本線比布駅」が発表されたことによります。

今回の水森さんの委嘱式は、歌の舞台でもある比布駅で行うことに。そこでぴっぴぶ

